

切磋琢磨Ⅲ

R3.3.24 最終号

令和2年度 本日で終了です。1年間ありがとうございました！

すばらしい卒業式でした（3月19日）

6年間過ごした二川小学校とのお別れの日。6年生はさまざまな思いをもって卒業式に臨みました。本来であれば、6年生が合唱で思いを伝えたり、5年生が在校生代表として参加し、卒業生に「はなむけの言葉」を贈ったりするのですが、コロナ禍のために、それらを断念せざるを得ませんでした。在校生や来賓の招待はやめにし、保護者一名のご臨席。もう一名はライブ放送を1・2年教室で見いただく形式にしました。式のライブ放送は初めての試みでした。今日の修了式やお別れの会も同じ形式で行いました。

卒業式では、主役である6年生が、凛とした姿で、最高に輝いていました。中学生になっても、自分らしさを失うことなく、前を向いて歩んでくれると期待できる式になりました。たくさんの方々の心温まるご支援のおかげです。この場をかりてお礼申し上げます。



修了式&お別れの会（3月24日）

修了式は、体育館に代表児童のみが集まり、その他の子どもたちは学級にてテレビ放送での参加となりました。

児童代表の挨拶をした後藤孝大さんは、堂々とがんばったことや6年生でがんばりたいことを発表しました。これで、令和2年度の教育課程を修了しました。「終わりは次の始まり」です。あと2週間したら、みんな学年が一つ上がります。そのための準備をぜひこの春休みにしてくださいね。

式の最後に、お世話になった先生方とお別れの会を開きました。先生方、本当にありがとうございました。



矢野美穂子先生(音楽・家庭科)

鈴木洋子先生(算数)

近藤充佳先生(図工)

三浦りか子先生(支援員)

星野真由美先生(支援員)

【校長講話】

いよいよ、皆さんへの最後の校長先生のお話になりました。最後のお話は、サ行の最後の字「そ」です。

「そ」：卒業そして総(そう)まとめの日

自分のコップにはこの一年間でどれくらいの水(自分が学んで得た力のこと)がたまっていますか？水をためるにはコップの口が上を向いていないといけませんね。勉強や運動をがんばる、友達と仲良くできるようになることで、自分自

身のコップの水はたまっていきます。もし、たまっていないなら、それはコップの口が下を向いているのです。素直な心をもって、前向きに努力することで水はどんどんたまり、あふれていきます。そして、水があふれそうになったら、新しいもっと大きなコップを用意しましょう。それが成長です。

コロナのために、遅れてスタートした令和2年度でしたが、みんなのおかげで思い出に残る一年になりました。ここからは、校長先生の総まとめです。

【1年生】入学式の時に撮った写真と比べると、その成長ぶりがよくわかります。元気に挨拶してくれるので、いつも元気をもらっていました。1年生のパワー、すごかった。

【2年生】おもちゃまつりのとき、自分たちで作ったおもちゃを1年生に丁寧に教えたり、わかりやすく説明をしたりする姿がありました。しっかりしたお兄さん・お姉さんですね。

【3年生】「ウサギの幸せ」をみんなで真剣に考えてくれてありがとう。二川小のウサギさんたちは幸せです。4年生では、愛情をこめてお世話をよろしくお願ひしますね。

【4年生】この1年間の皆さんの成長は2倍速以上だったように思います。友達思いの4年生です。「クラス会議」を通して、集団の一員としての自覚も高まりましたね。

【5年生】担任の先生がいなくなり、いろいろとつらい思いをさせてしまい申し訳なく思っていました。今の5年生の皆さんは、自分たちで考えて行動することができてきています。いよいよ最上級生となります。最後の1か月で、皆さんは学校を任せられ、大きく成長しました。その力で、二川小学校をよりよい学校にしてください。最後に一緒に英語の勉強ができて楽しかったよ！みんなありがとう。

校長先生は、この3月で先生をやめます。37年間、先生という仕事をしていて、たくさんの児童・生徒と出会いました。そして、おうちの方々、地域の方々にも大変お世話になりました。皆さん、二川小学校はすてきな学校です。二川小学校での思い出は、よい思い出ばかりです。たくさんの人と関わることができるこの仕事を全うできたこと、そして二川小学校で最後に卒業できることを本当に嬉しく思います。

保護者の皆様。この「切磋琢磨」を通して、学校の様子を伝えたり、校長としての思いを綴ったりしてきました。そして、たくさんの応援メッセージをいただきました。本号をもちまして、校長室だより「切磋琢磨」を終了します。最後までをお読みいただき、本当にありがとうございました。今まで保護者の皆様より賜りましたご支援とご協力に、心より感謝いたします。